



## 新たな良い年を迎えるにあたって

校長 大谷 京司

この1年を振り返ると、新型コロナウイルスによる臨時休業や行事の延期等もあったものの、感染対策を講じながら徐々に従来の教育活動に戻していくことができるようになりました。これも保護者の皆様のご理解とご協力があったとのこと、改めて厚くお礼申し上げます。

12月は2学期の、そして1年の締めくくりとして、多くの行事や取組がありましたが、子どもたちは厳しい寒さをものともせず、元気いっぱい2学期終業式を迎えることができました。

令和5年がすべての人にとって健康で平和なよき年となるよう心よりお祈りいたします。



## 餅つき・あんみつ作り・昔遊び



10月に子どもたちが収穫したもち米を使い、餅つきを行いました。蒸したての熱々のもち米を試食した後、「よいしょ！」のかけ声とともに杵でついていきます。グループごとに餅つきとあんみつ作りと昔遊びを順に回って体験していききました。

味餅のきな粉は本校で収穫した大豆を使った他、あんみつのあんこは調理員さんによる手作りだったこともあり、豚汁と共にとても贅沢な給食となりました。

6年生は、この他に鏡餅としめ縄を作りました。



## クリスマス会

今年も感染防止対策として玉川小学校体育館の会場をお借りしてクリスマス会を実施しました。

子どもたちの元気な歌声や静かに響き渡るハンドベルの音、さらには子どもたちが考えた英語劇や世界のクリスマスの紹介、そして子どもたちが感謝の気持ちを込めて作ったクリスマスカードなど、子どもたちからたくさんのプレゼントをもらい、会場があたたかい空気に包まれほっこりとした気持ちになりました。

エスポワールからも数々のプレゼントをいただき、子どもたちも早速翌週から新しい遊びに大いに盛り上がっていました。



## 中高生と共に学ぶSDGs

自修館中等教育学校で進めているSDGsの取組を小学校へも広げていきたい。そんな思いから、現在、自修館中等教育学校の生徒会役員として活躍する本校卒業生より提案があり、中高生と共に神奈川県自然環境保全センターとその周辺を散策しながら、中高生が事前に考えたクイズを解いたり、自分たちでできるSDGsについて考えたりしました。

自然環境保全センターでは、近年の丹沢の自然環境や生態系の変化や問題点などを展示物から学び、学校に戻って、それぞれが思ったことや考えたこと、自分たちでどんなことができるのかということについて話し合いました。

自修館の中高生からは、高学年になると自然環境のことも自分なりに考えようとしておりすごいと思ったなどの他、今回のことで少しでも小学生がSDGsに興味をもってくれたら嬉しいし、自修館にも遊びに来てほしいと感想をもらっていました。

休み時間にも子どもたちとたくさん遊んでくれた自修館の生徒さんたちに、あこがれと同時に、思いを行動に移す勇気をもらえたのではないかと思います。ありがとうございました。



## 人権への気づき（高齢者疑似体験・視覚障がい者誘導体験）

12月4日～10日の人権週間では、「広げよう」のテーマ学習とも関連付けて、高齢者と視覚障がい者の人権について考えてみました。

頭では理解していても、なかなか自分のこととして気づくことが難しいことから、今回は厚木市社会福祉協議会を通して、高齢者疑似体験では「厚木市福祉教育推進ボランティアあおぞら会」の、視覚障がい者誘導体験では「厚木市誘導赤十字奉仕団」の皆様にご協力いただき、後日、実際にそれぞれの体験をさせていただきました。

高齢者疑似体験では、重りやサポーター、白く曇ったゴーグルなどを装着して歩行や新聞を読むなどの体験を、視覚障がい者誘導体験では、アイマスクをつけて誘導してくれる人の腕につかまり段差のある所や狭い所の歩行の体験をしました。



### 児童のお礼のコメントから【高齢者疑似体験】

高齢者はよくヒザが痛いとか手が上がらないという気持ちが分かりました。これからジイジ・バババが歩きにくそうだったり見えづらいと言ったら言葉をかけたりしてサポートしたいです。

### 児童のお礼のコメントから

#### 【視覚障がい者誘導体験】

視覚障がい者の体験では、目が見えないというこわさを知りました。なので、近くに障がい者がいたら誘導してあげようと思いました。